

2 並木としての統一美を生み出すには

並木としての統一美を生み出すためには、樹高と下枝高の統一や枝葉の密度に留意することが重要であり、その剪定の目標となる“目標樹形”を設定する必要がある。

2-1 目標樹形の設定

- ・並木としての統一美を表現することを基本とした上で、街路樹の「樹形」と「大きさ」を決定する。
- ・「樹形」では、樹種毎の特性を考慮した上で、自然樹形を活かした樹形の維持に努めるが、現況樹形が大きく乱れている場合は、樹形を作り直す「再生」も検討する。
- ・「大きさ」では、目標樹形の具体的な樹高、枝張り、下枝高を決定し、空間に余裕がある場合は「育成」、既に空間に対して適正な大きさになっている場合は「現状維持」、空間に対して大きくなり過ぎている場合は「縮小」とする。

■目標樹形の考え方

